

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 185 号)

発行日：2022 年 (R4) 12 月 21 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090-1895-8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



## 戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

いつまでたっても「ウクライナ戦争」は終わりません。ウクライナに限らず地球上のどこかで戦争は起こっているのでしょうか… ロシアもウクライナもキリスト教が大多数。せめてクリスマス停戦はあるのかと思っていたら、正教会(ロシア正教会など)のクリスマスはユリウス暦(旧暦)で祝い1月7日だとか。むしろ新年を祝う習慣の方が強いという話です。ネットで調べただけなのでほんとかどうかは… いずれにせよ日本とは比べ物にならない寒さの年末。ウクライナのインフラはズタズタ。ロシアは新年停戦もしないと発表。心が痛みます。

「ウクライナの心に寄り添う」気持ちが増強。というのが日本?あくまでも私見。考え方はいろいろ。「自然を守り平和を願う」ことで想いを届けることもできるのでは。いろいろ考えてしまう年末です。来年が平和な年になることを祈ります。

(今住 12月17日作成)

### 定期活動 ★11月27日(日) 駐車場枯れ木・歩道倒木整理・平場雑木整理 9名で作業

そろそろ湿原内の草刈り管理の時期ですが、まだウメバチソウ等の種が未成熟のものも多いので、前回の続きです。その前に、駐車場付近のウリカエデ(瓜楓)が枯れて倒れかけていたのでその処理から。手鋸での作業でもいいのですが、チェーンソーという便利な道具があり「あっ」という間に伐り倒し。あとは手仕事でさばいて積み上げました。実は小学校の体験学習の折にアケビが付いていた木です。そのときには既に枯れていて、アケビをとる際「ミシミシ」と音を立てていまし

た。が、水路の対岸側にあるため面倒に思っていました。

さらに毎回神戸市道場側から山越えて参加のSさんより、歩道に大きなコナラ(小檜)が倒れていると。場所は南分岐点付近。距離も近いようなので「やりましょか」となりました。倒木はナラ枯れした結構な大木。山の斜面から倒れ込んでいます。道にかかっているのは木の真ん中ぐらいから先。細かな枝は既に枯れ落ちていて、中心の幹と太い枝が道を塞いでいます。通れないことはない。25cmぐらいか。枯れてるし楽勝なんです、先が川に入っています。とても邪魔くさい。玉に切った木を川から上げたり…。

が、人数がいたのでこれも「あっ」という間に終わりました。やってみると意外に簡単に出来ることって多くありますね。逆も多いですが…。



倒木の玉切り 超小型チェーンソー



川の中での作業



歩道で枝の処理



スッカスカに見える平場

さて振出しに戻って前回からの続きを黙々と。なんか最近「まじめにやりすぎちゃうん」という感じでやっています。

秋になり落葉樹の葉っぱがほとんど無くなりました。あれほど木々が茂り踏み込むのも大変と思っていた所が、スッカスカに。雑木の処理なんて必要ないみたいにも見えます。でもよく見ると茨（ノイバラ・木苺類）や蔦の類がいっぱい。そこにヒサカキ（姫神）やイヌツゲ（犬柘植）などが混じっています。刈り払い機も蔦や茨に邪魔されなかなか進まない。少し刈り取り、手作業で処理、少し刈り取りの繰り返し。手作業班は枝さばきやササの処理などを黙々と。茨はどこを触っても痛い。シカよけやイノシシ除けになっているのかも。作業中「シカの楽園を作っているのでは？」との思いがよぎります。シカの糞は常にある。ここにもカメラが必要か？



妙に真面目 いいことです

別できないのも実情。柴刈りと考えれば何の問題もないのですが。さらに処理した雑木の有効利用ができればということなし。ですが、これがなかなか考えられないんですよ。野積みするだけ。虫の棲家作りと考えまじょうか？といっても特に昆虫類が増えている気配もなし。何でやろ？気付いていないだけか？それとも昆虫飽和状態？なわけないよね。今回で今年度の雑木整理は終了。次回からは湿原内の刈り取り作業に入ります。



どこを持っててもトゲの茨

**定期活動** ★12月10日(土) 侵入防止看板設置 基礎調査 又マガヤ刈り取り作業 7名参加

目的	市内	市外
丸山	22	31
登山・ハイキング	39	56
散歩	10	14

来場者数計 172 人  
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:10	13.5℃		
第3湿原	10:33	【7.4℃】	38.8 μS/cm	7.1
視点場	11:13	14.6℃	39.9 μS/cm	5.9
第1湿原	11:25	【6.8℃】	38.5 μS/cm	6.2
第2湿原	10:48	【5.0℃】	42.1 μS/cm	7.1



「3匹のおっさん」？ 懐かしい

なりました。看板は「フクニシエ芸」さん（西谷境野）に制作を依頼。デザインについてもご協力をいただきました。

塗装（腐食防止）された丸太杭 2 本とアルミ板にプリントして枠にはめられた本体を運び、高さを合わせながらの作業でした。たいそう

実は顧問より「第4湿原木道の先端から『勝手道』ができている、対策を」と指摘を受けていました。実は私たち自身も生き物観察（ガイド時も）についつい入っているルート。（道づくりに貢献した？）耳が痛い指摘でした。話し合いの場ではロープ柵を先端にもつけられないか等提案がありました。後日、阪神北県民局から看板設置の提案。予算措置もしていただき今回の設置作業と



慎重に「適当」な位置を決定



見えにくいスマホレベル

に書いてますが実に簡単。その作業中に基礎データ取りも終了。ただ荷物は結構大層で、看板セット、インパクトドライバー、カケヤ（掛矢＝木製ハンマー）、測定機器、刈り払い機 2 台、刈り取り道具等。道具があればこそこの簡単作業。こればかりは致し方なしです。

杭を打ち込む位置を決定。（適当）2本の杭より幅が広がったらつきません。当たり前のことですが…。気を付けて。次に垂直に打ち込む。（適当）これは後で力技で調整可能か？杭の高さを合わせる。（適当）看板の取付金具を杭にひとつずつねじ込む。（適当）看板の位置を決め、もうひとつの金具をねじ込む。看板をセットしてレベルを調整。完全に固定する。えらいもので今の時代、水準器（レベル）もスマホにダウンロードできます。ホンマかいなと思いますが、一度お試しください。垂直も水平もばっちりです。今回の看板設置すべて「適当」に行いましたが仕上がりは結構ちゃんとできています。いかに「適当」がステキかわかったような気がします。ええんやろか？世の中これで回ればギクシャクしないんですがね。でもそうも言ってもらえないことが多いのは事実です。



インパクトドライバーの妙技

その後作業に入りました。観察日ですが例年この時期からはすべての活動日に刈り取り作業を入れています。今回は看板も設置したので第4湿原からスタート。実は昨年もその前年が未実施だったので第4スタートにしていました。



適当ではないヌマガヤ刈り

今年の3月末に27.5対のセトウチサンショウウオの卵塊が見つかりました。以前から話に出ていたことですが、ヌマガヤの刈り取りと卵塊数の増減には何か因果関係があるのでは？活動記録を見てみると、昨年度は11月末から第4湿原の刈り取りをスタート。しかし刈り取ったヌマガヤはそのまま湿原内に放置。

その後3月に、放置していたヌマガヤの運び出しを実施。この「適当」な作業と関係があるのかないのか。考える余地はありそうです。ヌマガヤ隠れ蓑説。

刈り取らずに置いておく。刈り取って放置する。湿原内に環境の多様性も必要か？「楽」が出来て多様性が維持できるならそれが一番ですからね。やはりここも「適当」がキーワードかもしれません。

そういう意見があるにもかかわらず、この日は順調に「きっちり」と作業が進んでいきました。時間が短いので全て刈り取りとはなりませんでしたが、7割終了か。第4湿原はこのまま放置して3月まで様子を見ましょうか？総括と計画性が弱いんだな～ 本当はいちばん肝の部分。PDCAをしっかりと。OODA（ウーダ）という考え方もあるそう。な。（知ったかぶり）でもここは「きっちり」するところですよね。頑張ろっと。

そう思うところですが、この日は順調に「きっちり」と作業が進んでいきました。時間が短いので全て刈り取りとはなりませんでしたが、7割終了か。第4湿原はこのまま放置して3月まで様子を見ましょうか？総括と計画性が弱いんだな～ 本当はいちばん肝の部分。PDCAをしっかりと。OODA（ウーダ）という考え方もあるそう。な。（知ったかぶり）でもここは「きっちり」するところですよね。頑張ろっと。

そういう意見があるにもかかわらず、この日は順調に「きっちり」と作業が進んでいきました。時間が短いので全て刈り取りとはなりませんでしたが、7割終了か。第4湿原はこのまま放置して3月まで様子を見ましょうか？総括と計画性が弱いんだな～ 本当はいちばん肝の部分。PDCAをしっかりと。OODA（ウーダ）という考え方もあるそう。な。（知ったかぶり）でもここは「きっちり」するところですよね。頑張ろっと。

そういう意見があるにもかかわらず、この日は順調に「きっちり」と作業が進んでいきました。時間が短いので全て刈り取りとはなりませんでしたが、7割終了か。第4湿原はこのまま放置して3月まで様子を見ましょうか？総括と計画性が弱いんだな～ 本当はいちばん肝の部分。PDCAをしっかりと。OODA（ウーダ）という考え方もあるそう。な。（知ったかぶり）でもここは「きっちり」するところですよね。頑張ろっと。



どこに座ってまんねん 記念写真



おおかた片付きました

4 湿原はこのまま放置して 3 月まで様子を見ましょうか？総括と計画性が弱いんだな～ 本当はいちばん肝の部分。PDCA をしっかりと。OODA（ウーダ）という考え方もあるそう。な。（知ったかぶり）でもここは「きっちり」するところですよね。頑張ろっと。



よう働いた 帰ろう！

帰り道、トレイルカメラのデータの回収に向かいました。データの確認は帰ってから。周りの様子を観察。ササが妙に白くなり丈の短いものが多い。人が入らない所なのに平らに踏みしめられている。やはりシカさんがかなりくつろいでおられるようです。よくよく観察すると、ササの先端部が好きなようです。しかも夏に刈り取った部分のササを多く食べている様子。サギソウ開花数調査の前（7月末）に刈り取ったところです。

当たり前といえば当たり前、新芽の柔らかい部分を集中的に食べる。枯れ草（ヌマガヤ等）は食べない。イメージとして牛のようにワラも食べるような気がしていました。（牛も緑の草が好きやわな…）さらに想像を膨らませると、柔らかい緑の植物が無ければ被害はないのかも。食べるものが無くなればなんでも食べるのは間違いないようですが。

10月に入って立派な角を持ったオジカ（牡鹿）がウロウロしていましたが、今回のカメラにも同じと思われるオジカ（ヌシ）が数回写っていました。今回は成熟したオスがもう1頭。2頭で角合わせをしている場面も写っていました。ケンカしているわけでもなく、物音が聞こえると角を離し、同じ方向を「ジーッ」と見つめる。力試しのようです。やはりヌシと思われる方が強く、もう1頭は逃げるように去って行きました。同じ群れで移動しているのでしょうか。

オジカの成熟は4歳からと言われています。角は三又四尖の形になり、満4歳以降は外側に広がるようです。（満1歳から角が生え満4歳まで先端が増える＝三又四尖）あんな大きく固いものが毎年生え変わるとは、どれだけの栄養をつぎ込むの



ヌシ（前回と同一個体？）



若い成熟個体 角が短い



一本角 満1歳

でしょうか？それでも大きく育つ。そりゃ食べなきゃね。メスも然り。2歳ぐらいから成熟するようです。毎年出産。これもスゴイ。いずれも栄養状態がよくないと無理かと思いますが。日本中にシカが増えているのは栄養満点の食生活が確保されているのと、天敵がないせいなのでしょうね。人間とおんなじや。貧困はありますが。

イノシシ（猪）は小さいのが1頭だけ写っていました。未だ豚コレラは蔓延しているのでしょうか。減りすぎて増えるのに時間がかかるのか。今ぐらいがちょうどいい感じなのですが…。イノシシパンデミックはいつまで。



角合わせ 多分左がヌシ 霧中 [blog](#) で動画が見られます

あとアライグマ（洗熊）が1頭ご機嫌さんで「おしっこ」をされてました。困ったもんだ。

**お知らせ** 前号でお知らせした腐りかけている第3湿原西木道ですが、部分修理が決定しました。特別の予算措置が得られませんでしたので、通常活動資金からひねり出すこととなります。他の活動に少し支障が出るかもしれませんがご理解ください。非常に良心的な価格で契約していただきました。出来上りを期待したいと思います。

今年最後の活動 12月25日（日）の作業の後、納会を予定しています。場所は未定。昼食は出ませんので各自食事の用意をお願いします。

**次回活動日** 12月25日（日） 2023年1月14日（土）22日（日）2月11日（土）